

港区史編さんだより

～ 区民の皆さんと歩み、歴史を語り継ぐ～

発行：港区総務部総務課区史編さん担当
〒105-8511 港区芝公園 1-5-25/TEL 03-3578-2049/<https://www.city.minato.tokyo.jp/>



今号の表紙

昭和42年頃の、港区内の風景を写した一枚です。右手奥には東京タワーがそびえています。現在と比べると高い建物が少ないことがよくわかります。さて、これはどこからの眺めでしょうか。答えは3ページをご覧ください。



目次

Zoom up 編さん過程のヒトコマ …… P 2

Pick up 史資料調査過程のヒトコマ、デジタル版港区のあゆみ …… P 2、3

リーフレットを制作しました、デジタル港区教育史のご紹介、編集後記 …… P 4

Zoom Up 編さん過程のヒトコマ

監修者会議の様子

新型コロナウイルス感染症対策のため、Web 会議で行いました。

5月29日の会議では令和5年3月に刊行予定の「港区史資料編」の刊行概要や刊行までのスケジュールについて確認しました。7月13日の会議では、通史編の目次の確認と調整、版の掲載許可申請について議論を行いました。

令和2年5月29日、7月13日 開催



▲ Web 会議の様子

近世部会の様子

Web 会議で、通史編の校正における基準や、刊行までの工程の確認を行いました。また、資料編に掲載する資料の翻刻基準や解説のつけ方について議論したほか、資料編に付ける港区域の近世絵図について、検討しました。

令和2年4月25日 開催

現代部会の様子

新型コロナウイルス感染症への港区の対応や延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の記述について、検討を行いました。そのほか、資料編掲載資料の検討や、区役所の担当部局へのヒアリング方法・資料収集方法の確認などを行いました。

令和2年7月2日 開催

古代・中世部会の様子

資料編について話し合いを行いました。区民をはじめとする読者にわかりやすいものとするため、古文書や聖教・地誌類、板碑などをどのような構成で掲載していくか、今後の編集・調査の進め方を検討しました。

令和2年7月2日 開催



▲古代・中世部会の様子

Pick Up 史資料調査過程のヒトコマ

近代部会 港区立郷土歴史館にて開催しました。通史編について執筆者間の執筆内容の調整、用語・用字や刊行スケジュールの確認などが行われたほか、資料編について監修者からの説明がありました。

当日は会議に先立ち、麻布本村町会資料（港区立郷土歴史館所蔵）を閲覧・調査しました。麻布本村町会資料は、官庁からの布告・布達の写しや会計帳簿などを中心とする、幕末から終戦直後までの資料群であり、大変貴重なものです。この資料調査の結果を区史編さんに反映していきます。

令和2年3月26日 開催



▲港区立郷土歴史館所蔵の資料



▲資料調査の様子



▲会議の様子

Pick Up デジタル版港区のあゆみ

年表からみる港区のあゆみ を公開しました 令和2年3月30日

港区が誕生した昭和22年3月から平成30年3月までの区の行政とできごとを「港区の年表」としてまとめました。「デジタル版 港区のあゆみ」のコンテンツのひとつとして、インターネットでどなたでもご覧いただけます

■年表からみる港区のあゆみ <https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/1310305100/chronology/index.html>



年表からみる港区のあゆみでできること

- 昭和22年3月から平成30年3月までの「港区の年表」を閲覧できます。
- 「港区の年表」を、「産業」「防災」といったテーマごとに見ることができます。
- 「港区の年表」の出典資料を見ることができます。
- 「港区の年表」を、同時期の世の中のできごとと比較して見ることができます。
- 年表の内容を、キーワードで検索することができます。

本文閲覧 目録閲覧 年表閲覧 詳細検索 参考データ 機関内検索 ADEAC トップへ ログイン

港区/デジタル版 港区のあゆみ

年表一覧

年表1 年表からみる港区のあゆみ 港区の年表 年表2

西暦 : [] ~ [] 年号変換 検索 クリア

No	元号年	西暦年	月	日	事項
101	昭和28年	1953	7	9	狸穴公園開設
102	昭和28年	1953	7	9	白金志田町児童遊園開設
158	昭和33年	1958	5	21	第3回アジア競技大会聖火リレー、区内をリレー通過
159	昭和33年	1958	6	11	港区議会議長に大塚憲議員が就任
160	昭和33年	1958	7	8	港区議会副議長に岡田四郎議員が就任
161	昭和33年	1958	9	1	高輪支所を開設、出張所制度を廃止
162	昭和33年	1958	10	20	車町児童遊園開設

◆◆◆表紙の写真について◆◆◆

1ページの表紙の写真は、昭和42年頃の、旧高輪支所からの景色です。旧高輪支所は芝高輪西台町1（現高輪一丁目）にあったことが、出典資料「区勢要覧」等に書かれています。

【出典】：港区政ニュースS33.8.20 P1、港区15周年記念特集号 昭和36年度版 P36、P37

【テーマ】：01区制施行

※クリックすると
出典資料が表示されます



「デジタル版 港区のあゆみ」って!?

港区の歴史と今と未来をつなげるデジタルアーカイブです。既刊の区史や、新たに区史を編さんするにあたって収集・整理した史資料をデジタル化し、キーワードによる閲覧・検索ができる形で公開しています。

■デジタル版 港区のあゆみ

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/1310305100/index.html>



リーフレット 港区のあゆみ mini を制作しました

History of Minato City
港区のあゆみ mini

いまでは高層ビルが立ち並び、たくさんの人が行きかう港区にも、古い歴史があります。これまでの港区のあゆみをさかのぼって、さまざまなできごとや人びとが紡いできたものを知ると、見えてくる街の風景が変わるかもしれません。港区では、「港区史」の編さんとして、編さん過程の公開として様々な事業を展開しており、「港区のあゆみ」としてまとめています。ここでは、デジタル版（URLは裏面参照）で公開している区民インタビューや年表の他、本年刊行予定の港区史から一部を紹介いたします。
※「港区史」は定価編纂費、表紙・中表紙、前巻、自然編及び「港区の歴史」を令和2年（2020）10月、近頃は令和4年（2022）、表紙及び資料編は令和5年（2023）に刊行予定です。

港区の動き	日本の動き
<ul style="list-style-type: none"> ●人口25万人突破（2017） ●地域の課題を地域で解決するため、5つの総合支所を設置（2006） ●コミュニティバス「ちいばす」運行（2004） ●清掃事業が東京都から区に移管（2000） ●台場の「まち」誕生（1996） ●未曾有の財政危機に直面し、緊急対策として行財政改革に取り組む（1996～） ●港区平和都市宣言（1985） ●第1回みなと区民まつり開催（1982） ●名譽区民第1号顕彰（1979） ●区長公選制の復活、保健所が東京都から移管（1975） 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催（予定） ●環状2号線（新橋～虎ノ門間）開通（2014） ●東日本大震災（2011） ●阪神・淡路大震災（1995） ●レインボーブリッジ開通（1993） ●沖縄返還（1972） ●東京オリンピック・パラリンピック開催（1964） ●東海道新幹線開業（1964） ●東京タワー完成（1958）

現代

●区歌・区旗
●芝・麻布・赤坂

これまで収録した区民インタビューの内容や、3月に公開した年表の他、本年刊行予定の港区史から一部を紹介するリーフレットを制作しました。

いまでは高層ビルが立ち並び、たくさんの人が行きかう港区にも古い歴史があります。これまでの港区のあゆみをさかのぼって、さまざまなできごとや人びとが紡いできたものを知ると、見えてくる街の風景が変わるかもしれません。コンパクトにまとめた年表や区史の一部から、ぜひ土地の歴史を感じてみてください。



リーフレットは港区内の施設で配布しており、区史ホームページ「デジタル版 港区のあゆみ」でも公開しています。

関連サイト

デジタル港区教育史「見る・知る・伝える ～港区教育アーカイブ～」

港区教育委員会では、平成29年度から「港区教育史」編さん事業に取り組んでいます。

江戸時代後期以降の教育の歩みは、寺子屋を発祥としています。港区の地における150年を超えるこの歩みを体系的に記録し、後世に語り継ぎます。

港区教育史の刊行に先立ち、編さん過程で発見された貴重な歴史資料や映像を広く区民の皆さんに「見て」、「知って」いただき、区の教育史に興味を持っていただくため、「見る・知る・伝える～港区教育アーカイブ～」をインターネット上で公開しています。



見る・知る・伝える
～港区教育アーカイブ～

2020.7.7 印刷済み、それぞれの学習履歴、映像を公開しました！！

「日本近代教育史の『見聞』とされる明治小学校120年のあゆみ」映像を公開中！！



デジタル港区教育史

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/1310305200/>



編集後記



新型コロナウイルス感染症により、当たり前の日常が大きく変わることとなりました。区史編さんにおいても、これまで集まって行っていた会議をWeb会議に切り替えるなど、工夫しながら刊行に向けて進めています。「ステイホーム」のお供には、インターネットで「デジタル版 港区のあゆみ」「デジタル港区教育史」をぜひお楽しみください。